

美幌商工会議所 令和7年度第IV四半期景気動向調査結果

令和8年3月

I 調査要領

- (1) 調査時点及び調査方法 調査票を令和8年1月8日にFAXとメールをし、令和8年1月22日を締切日としてFAXとGoogleフォームで回収
- (2) 調査対象期間 令和7年10月～12月期実績及び、令和8年1月～3月期見通し
- (3) 調査対象 美幌町内の本所会員事業所117社
- (4) 対象業種 小売業、卸売業、建設業、製造業、飲食業、サービス業
- (5) 回収率 83.8% (回答数98社)
- (6) 回答企業内訳 小売業31社、卸売業6社、建設業16社、製造業16社、飲食業11社、サービス業18社
- (7) 語句の説明 D.I値とは、ディフュージョン・インデックス(景気動向指数)の略で、各調査項目についての増加(好転・上昇)企業割合から減少(悪化・低下)企業割合を差引いた値(景気動向指数)を示す。

II 調査結果概要

令和7年10月～12月期の美幌町の景況は、業況判断D.Iにおいて、今期D.I値が前回調査時(令和7年7月～9月期:▲12.5)に比べて5.4ポイント上昇となっており、次期見通しD.I値は、今期調査時(令和7年10月～12月期:▲7.1)に比べて30.7ポイント悪化していく見込みで、今後も厳しい状況が続くと予測されます。今期は労働確保や賃金水準の上昇に伴う「人件費増加」が最も多く回答され、次いで収益を圧迫する要因として「諸経費増加」が数多くあげられました。このように、地域特有の人手不足に加えコスト増が重なり、各事業所の経営を強く圧迫している現状となっています。

業況	今期D.I値	前回調査比	次期見通しD.I値	次期見通し今期比
	▲7.1	7年7月～9月期(値) ▲12.5(+5.4)	▲37.8	▲30.7

売上	今期D.I値	前回調査比	小売業	卸売業	建設業	製造業	飲食業	サービス業	(凡例)
	▲12.3	7年7月～9月期(値) ▲16.7(+4.4)	↓ (▲25.8)	↑ (+33.3)	↑ (+18.8)	↓ (▲12.5)	↓ (▲27.3)	↓ (▲22.2)	
採算	今期D.I値	前回調査比	小売業	卸売業	建設業	製造業	飲食業	サービス業	(凡例)
	▲14.3	7年7月～9月期(値) ▲19.6(+5.3)	↓ (▲16.1)	↑ (+33.3)	→ (±0.0)	↑ (+12.5)	↓ (▲27.3)	↓ (▲33.3)	

資金繰り	今期D.I値	前回調査比	次期見通しD.I値	次期見通し今期比
	▲13.2	7年7月～9月期(値) ▲7.3(▲5.9)	▲19.6	▲6.4

経営上の問題点	内容
	○小売業：問屋の廃業により、欲しい商品の仕入が難しくなっている。・機材等の老朽化。・スタッフ不足。商品仕入高による、売値を上げられない。・物価高に困る、買控え客の高齢化。プレミアム商品券発行して下さりありがとうございます。厳しい時期が続きます。引き続きご指導ご鞭撻の程、何卒よろしくお願いたします。昨年9月より売上不振。米の収穫、新米の値上がりが続いて10kg1万円以上に上がった為。財布のひもが締まった感じがします。
	○卸売業：インフレ、円安で好業績になるのか？
	○建設業：採用難。・一般住宅の新築戸数が大きく減少している。当事業所は改修工事が一定の需要があるので、実績に大きな変化はない。・人材不足に加え、人員不足。仕事があるのに、人がいない。技術者、作業員、オペレーターなどの担い手不足。
	○製造業：仕事量の減少。・職人、現場での労働者不足。
	○サービス業：商品(販売)値上り、お客(農家)精算コストの上昇、品代の値上り(交付金)など。お客様の経営が厳しい。昨年6月より休業したりしているので、正確な数字が出ません。高齢のお客が多く、入院された施設られた。お亡くなりになった等、客足が随分減少しました。
	○飲食業：いろいろありすぎて、回答できません。